

コース 21 たかっぴょうやま 高標山とカヤノ平 たいら

リーダー CL M/T SL M/K, K/T
 実施日 平成25年 7月 21日(日) 天候 曇りのち晴れ
 参加者 35人 (男性 14 女性 21)
 グレード B
 コースポイント

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:55	駅西口→新津西 IC→北陸道へ
米山 SA	7:14	7:24	豊田飯山 IC→道の駅「ふるさと豊田」
カヤノ平ゲート	9:25	9:38	林道歩行
高標山登山口	9:50	9:51	
高標山頂上	11:23	11:50	T サブリーダーの山の説明
カヤノ平案内所前	13:05	13:45	林の中で遅い昼食
西コース東コース分岐	14:19	14:25	ブナ林 休憩
北ドブ湿原東屋	15:08	15:16	
案内所前	16:00	16:17	豊田飯山 IC→米山 SA
秋葉区役所前	20:00		新津西 IC→駅西口経由

山行等概要（幹事のコメント）

- 参加者多数のため、小型バスとジャンボタクシーの2台となる。
- 気にしていた天気は曇りから晴れに変わり、登山日和となる。
- 今年入会された方が数名おられたため、行きの中で各係を紹介（顔見せ）。
- 高標山・・・登山道はよく整備され、見事なブナ、ダケカンバの林をゆっくり登る。途中は、春の花の咲いたあとの実をつけているサンカヨウの群生をはじめ、エンレイソウ、ツバメオモト、マイズルソウ、カタバミソウ等々が目についた。また、ギンリョウソウ、イチヤクソウ、スダヤクシュ、ユキザサ等初夏の花々にも出会う。山頂からの360°の眺望は素晴らしく、遠く北アルプス（後立山）まで見えたのはラッキー！！
- 北ドブ湿原・・・大ぶりで見事なブナ林の中を緩やかな上りと急降下を経て辿り着き、ニッコウキスゲの群生、キヌガサソウ、タテヤマリンドウ、ヒオウギアヤメ、サワラン、トキソウ、モウセンゴケ、マルバタケブキ等多数の花を觀賞できた。
- 新緑のブナ林、サンカヨウの咲く時期にまた訪れたいとの声あり。
- 参考までにゲートの開くのが自然融雪を待って開くとのこと。今年は6月7日。



高標山頂上 1, 2, 3 班の皆さん

「高標山とカヤノ平に参加して」

(1501) M/K

まだ梅雨明けしない新潟ですからお天気を心配して居ました
曇り空ですが降ってなければ申し分なしです
高標山は聞いたこともない、どんな山かなあ～
360度の眺望が得られるというのも嬉しい
花好きな私が参加の決め手に

「湿原に咲く夏の花期に合わせました」のフレーズです
35名の参加でジャンボタクシー、バスとで新津を出発
登山口カヤノ平高原は晴れ 5班編成で出発です。
緩やかな登り足にやさしいブナの森です、もう少し風があればね
こんな楽なら最後にお決まりの一気に登りがあるんだよ
そんな心配もよそに1時間40分 ピー！
リーダーの笛 どうやら山頂に着いたようだ
前から「わー」展望が開けたようです
狭い山頂でしたが青空の下の眺望は素晴らしく申し分なし
会長さんが山座同定してくれます
登山口のキャンプ場で 標高1450m、標高差300mで高山の雰囲気
味わえるなんて嬉しいね！
キャンプ場まで下って白樺林でお昼です



午後の部はカヤノ平周回

森林セラピーにも選ばれただけある見事なブナの原生林を歩きます

「いいなあ～紅葉の時もいだろうね、早春の芽吹きは！♥」

前後の人から聞こえるつぶやき

とても個人で来るには遠すぎですこんな企画を立てて下さった

リーダーに感謝しながら程よく疲れたころ開けて湿原が見えてきました

まずニッコウキスゲが目飛び込んできます

盛りは過ぎつつあったが明るい黄色は存在感充分でした

今年は当たり年だというコバイケイソウ期待したけど無かった

バイケイソウを見ます、レイジンソウも、タテヤマリンドウ、モウセンゴケ

クルマユリ、吾亦紅・・・花を楽しみました

ぐるっと周回してピタッ16時登山口に戻りました



リーダー、サブリーダーラストを務めた会長さん息の合った進行でした

帰りのバスで植物に詳しいTさんが今日見た花を数えてくれました

実も種も含めて30種以上と午前の部、午後の部、2山を登ったほどに得た気分の山行になったのです

各班長、会計、担当幹事さんご苦労様でした

高標山頂上4, 5班の皆さん